## 中学歴史 江戸時代③

(1)	江戸幕府は耕地面積を増やすため( )に力を入れた。  → 秀吉の頃と比べて耕地面積は2倍になった。	(1)
(2)	( ① ) や ( ② ) などの農具が開発された。 → ①は土を深く耕すための農具。	(2) ①
	→ ②は脱穀用の農具。	2
(3)	油かすや ( ) などの肥料が使われるようになった。 → いわしを干したもの。	(3)
(4)	売ることを目的に栽培される農作物を何というか。→ 生産力の向上によって余裕がうまれた。木綿や菜種などが栽培された。	(4)
(5)	千葉県の( )では地引網によるいわし漁が行われた。 → いわしは干鰯にも加工された。	(5)
(6)	江戸時代には金山・銀山・銅山の開発がすすんだ。 → 新潟県の( ① )金山	(6) ①
	<ul><li>→ 島根県の(②)銀山、兵庫県の生野銀山</li><li>→ 栃木県の(③)銅山</li></ul>	2
		3
(7)	三都と呼ばれた都市の1つで、「将軍のおひざもと」と呼ばれ発展した都市はどこか。→ 政治の中心地で、人口約100万人の都市。	(7)
(8)	三都と呼ばれた都市の1つで、古くからの文化の中心地であった都市は どこか。→ 西陣織などの工芸品が生産された。	(8)
(9)	三都と呼ばれた都市の1つで、「天下の台所」と呼ばれ発展した都市はど こか。→ 商業の中心地であった。	(9)
(10)	大名は大阪などに( )を設置し、年貢米や特産物の販売を行った。	(10)
(11)	江戸時代の商人たちは、( )と呼ばれる同業者組合をつくって大きな 利益を得た。→ 税を納める代わりに営業を独占する権利を得た。	(11)
(12)	幕府は、銭座で( )という銅銭を大量につくった。  → 金座で金貨、銀座で銀貨がつくられた。	(12)
(13)	江戸時代には、貨幣の交換を行う( )があらわれた。→ 東日本では 金貨、西日本では銀貨が流通。やがて、貸付なども行うようになった。	(13)
(14)	各藩が発行した独自の紙幣を何というか。 → 幕府の許可を得て発行。藩内だけて通用する紙幣。	(14)
(15)	江戸を起点として整備された陸上交通路を何というか。→ 参勤交代に利用され、宿場町がさかえた。関所が設置され、人々の通行を監視した。	(15)

(16) 五街道のうち、( )は海沿いを通って江戸と京都を結んでいる。	(16)
(17) 五街道のうち、( ) は江戸と草津(滋賀県)を結ぶ。→ 草津から京都までは東海道に合流する。内陸部を通って江戸と京都を結ぶルート。	(17)
(18) 五街道のうち、( )は江戸から(甲斐)山梨を通って中山道と合流している。	(18)
(19) 五街道のうち、(  )は江戸と日光(栃木県)を結ぶ。 → 日光東照宮には徳川家康が祀られている。	(19)
<ul><li>(20) 五街道のうち、( ) は江戸と白河(福島県)を結ぶ。</li><li>→ 日光道中と枝分かれしている。</li></ul>	(20)
<ul><li>(21) 手紙や荷物などを運んでいた人々を何というか。</li><li>→ 五街道などに設置された。</li></ul>	(21)
<ul><li>(22) 東北・北陸地方の年貢米を江戸に運ぶ航路は何か。</li><li>→ 太平洋側を通る。</li></ul>	(22)
(23) 東北・北陸地方の年貢米を大阪に運ぶ航路は何か。  → 日本海側を通って、瀬戸内海を通って大阪に至る。	(23)
<ul><li>(24) 江戸と大阪を往復する航路を何というか。</li><li>→ 京都や大阪の品物を江戸に輸送した。</li></ul>	(24)
(25) 南海路を行き来した船で、木綿や油、しょうゆなどを運んだ定期船を何というか。	(25)
(26) 南海路を行き来した船で、主に酒を運んだ定期船を何というか。	(26)